

▼御祭神

あまてらすおみかみ  
**天照大御神**  
 あめのみかみかみのかみ

かみむすびのかみ  
**天御中主神**  
 たかみむすびのかみ

かみむすびのかみ  
**高皇産靈神・神皇産靈神**  
 いざなぎのみこと いざなみのみこと

いざなぎのみこと  
**伊弉諾尊・伊弉冉尊**  
 くにとこちのみこと おおなむらのみこと すくなひなみのみこと

すくなひなみのみこと  
**国常立尊・大己貴命・少彦名命**  
 しょういちいなりのおおかみ

おほなむらのみこと  
**正一位稻荷大神**  
 すがわらのおおかみ

おほなむらのみこと  
**菅原大神**  
 すいてんぐうのおおかみ

すいてんぐうのおおかみ  
**水天宮大神**

外に二十一柱の神をおまつりしています。



●桜神宮公式 SNS

ご祭儀や月毎の御朱印などのお知らせを随時更新しております。

ホームページ X (Twitter) Instagram

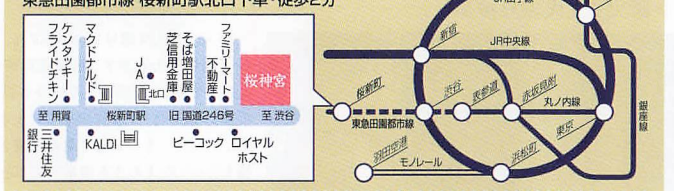
@sakura\_jingu @SAKURA.JINGU

「桜神宮崇敬会」

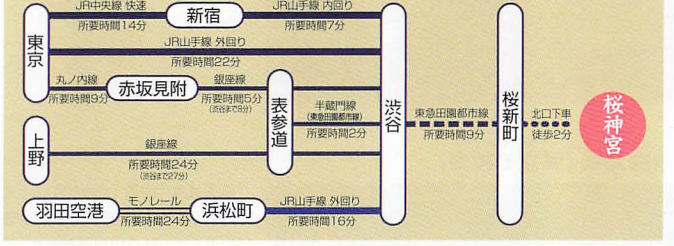
本会は、神々や祖先のご恩に感謝し、ご祭神の神威の発揚を仰ぎ、ひとりでも多くの方に、日々平安にお過ごしいただくと共に、桜新町にお住まいの方はもちろん、遠方にお住まいの方でも桜神宮とのご縁を大切にしたいという方のために発会されました。

会員の皆様には、年頭の御神札の授与をはじめ、会報の送付、昇殿参拝、神前冥想の参加、挙式や神葬祭などの執行のほか、多くの特典があります。皆様と桜神宮ご祭神のご神縁を結ぶ会に、ぜひご加入ください。

■桜神宮への道順



■交通機関



古式神道 桜神宮

〒154-0014 東京都世田谷区新町3-21-3  
 電話 03-3429-0869 FAX 03-3429-7452  
 ホームページアドレス <http://www.sakura.jingu.net/>  
 メールアドレス [info@sakura.jingu.net](mailto:info@sakura.jingu.net)



古式神道 桜神宮



## ▼御由緒

桜神宮は明治十五年神田今川小路に創建された天照大御神をはじめ、日本の神々をお祀りする（日本の記紀神話を中心とした神々をお祀りする）神宮です。

大正四年、速やかに西の方角に移転するよう神託が下り、大正八年から十一年にかけて社殿を現在の世田谷区桜新町の地に移転しました。これにより、関東大地震（大正十二年）の災害、並びに太平洋戦争の戦火からも免れ、火伏せ、災難除けの宮としても崇敬を集めました。

創建した芳村正乗は大中臣家六十五代の後裔で、明治初期に伊勢神宮筆頭彌宜、神宮支庁東京出張所（東京大神宮の前身）所長、龍田神宮宮司を歴任し、一位局（中山慶子様）の要請により三年に亘り大正天皇の健康祈願を行い、明治政府の要人、神社界他、多くの人々から信望を集め、神道神職として

人々の教化に尽力しました。明治十五年には明治天皇の勅許

によって教派神道の一派、その名も神宮奉職中に倭姫命から神託によって授かった「神習いの教え」を立てました。このため桜神宮は古式神道の総本山としても全国の人々から崇敬を受けております。内務省を通して外務省の紹介により、明治時代には珍しく多くの英米人の参拝がありました。

また同十六年には関東八州の御嶽先達の強い要望を受け、長野県知事の許可と御嶽神社祠掌（滝・武居・向井の三社家）の承諾を得て、御嶽三神の御分神を相殿に鎮祭、更に多くの人々から信奉を得ました。

（注）大中臣家は古事記に記されている天孫降臨の際の随神である天兒屋根命を祖神とし、神代より宮中祭祀を司る氏族。

## ▼社殿

桜神宮の社殿は、明治十七年に神田今川小路に建立され、大正十一年に現在地に移築されたもので、奥殿には千木、鯉木があり幣殿、拝殿からなる神明造りと春日

造りを合わせた様式の神殿です。社殿に隣接する神習会館内には、御霊様をお祀りする霊殿、折袴殿、禊場、神宝展示室が置かれています。

## ▼御神体の由緒

御神体は菊花十六弁の「御鏡」です。これは明治維新以前、東京深川霊岸島四日市町拝領屋敷で慶光院が朝廷より許可（勅許）を得て江戸時代では全国で唯一奉斎されていた（伊勢神宮天照坐皇大神の）神明宮にお祀りされていたものです。この御鏡が維新後、伊勢

神宮に御奉遷され、神宮祭主久邇宮朝彦親王がみずから天照坐皇大神の御分神を分霊し、信任をよせていた芳村正乗が神宮を辞任する際に授けました。（注）分霊とは、御鏡もそのままはただの鏡です。そこに御祭神の分け御霊をお納めして初めて御神体となります。

## ▼主な年中行事

・四方拝	1月1日	・慰霊大祭	7月第2日曜日
・元始祭	1月3日	・芳村正乗祭	1月21日
・節分祭	2月3日	・夏越し大祓	6月30日
・春季大祭（釜鳴り神事、火渡り）	4月9日若しくは前後の日曜日	・師走大祓	12月27日
・秋季中祭（釜鳴り神事、湯立て）	9月17日若しくは前後の日曜日	・月次祭	毎月9日、21日、27日
		・祈祷祭	毎月17日

### ◆釜鳴り神事（釜鳴り御供式）



心身の罪穢れを清めるとともに、吉凶占いもできるという神事です。これは釜の中に米を入れて炊き、神言と手印で神事を行い、気合い「エイッ」とかけると、「ウォーン」と釜が鳴りはじめます。神事終了後は参拝者が釜湯を口にして、飲むことによって神徳にあずかり、健康成就や幸福を招くといわれています。

### ◆鎮火式（火渡り神事）



鎮火式は「火渡り」とも呼ばれ、春の大祭に行われます。鎮火式は四隅を忌竹で囲い、その中に6メートルほどの炭の道を作り、炭に火をつけます。そしてお祓いをして塩で清めた後、秘儀を行い、炭火の上を素足で渡るという神事です。

### ◆探湯式（湯立て神事）



探湯式は「探湯（くわだち）」とも言い、熱湯を探る式であり、秋の中祭に行われます。釜の中に水を入れ、下から烈火を焚き、釜の八方に清めの塩を置きます。お湯が沸騰すると御幣で「掛け巻きの神事」を行い、神気をこの釜の中にこめて熱湯の精神を追放します。竹葉を束にしたものを釜の中に差し入れ、気合いとともにその竹葉で沸騰している熱湯を全身に注ぎかけ、身体を清め、五体健康を祈念する神事です。

## 人生儀礼と諸祭祈願のご案内

●大中臣八方清メ  
桜神宮特別祈祷「大中臣八方清メ」は、全国で唯一桜神宮だけで執り行われている、古式神道の由緒正しい御祈祷です。当宮では神話の時代より継承されたこの誠い清めの神事により、災いを取り除き、皆様の人生が素晴らしいものになるように誠心誠意ご奉仕申し上げます。

- 厄除  
祓えを司る神々の神威の発揚を願ひ男性は25歳、42歳、61歳、女性は19歳、33歳、37歳に厄を祓います。
- 商売繁昌  
正一位稲荷大神を祀り、商売繁盛、社運隆昌を祈ります。
- 合格祈願  
菅原大神を祀り、入学試験をはじめ諸々の合格祈願をいたします。
- 安産祈願  
五ヶ月目の戌の日に神前に詣で水天宮の大神に安産を祈願します。
- 良縁成就  
産霊（むすひ）の神と伊弉諾尊、伊弉冉尊に良い縁があり、無事結ばれるよう祈ります。
- 健康祈願  
病氣平癒の神である国常立尊、大己貴命、少名彦名命に病気が治り一日も早く健康になるよう祈ります。
- その他諸祭祈願  
必勝祈願、心願成就、自動車誠、旅行安全ほか。

●初詣  
一年間の家内安全、身体健康、厄除開運、商売繁昌、交通安全、合格祈願など昇殿祈願を受け付けております。また、仕事始めには、企業、団体、商店などの方の、社運隆昌、無事故祈願を受け付けております。



●七五三詣  
幼少期の成長を節目節目に感謝し祝うのが七五三です。一般に3歳は「髪置」と呼び、男の子の子、5歳は男の子の「袴着」、7歳は女の子の「帯解」のお祝いを致します。



●初宮詣  
お子様の誕生後に氏子の仲間入りをご神前に奉告すると共に健やかなる成長をご神前に祈ります。

●結婚式  
神様の前にて、婚姻を奉告する儀式です。伊弉諾尊、伊弉冉尊の故実（こと）に習い、古式に則った厳粛な神前結婚式を行います。



●出張祭典  
家祓、地鎮祭、上棟祭、竣工祭、開店清祓、神式葬儀、霊祭ほか

◆社ではお礼・お守り・絵馬・おみくじ・破魔矢などご用意しております。

